

0~5
歳児

発達支援

発達が気になる子どもの遊びと保育



講座番号 581 7月23日(火) 10:00~16:00 講座番号 582 7月30日(火) 10:00~16:00

*講座番号581と582は同じカリキュラム

両角美映(おもちゃコンサルタントマスター・NPO法人レインボー代表)
定員 各80名 受講料 各8,300円 東京会場/中野サンプラザ

テキスト 書籍番号 E1 『発達が気になる子どもの保育』 2,052円

園ではさまざまな発達が気になる乳幼児、障がい児への「関わり力」が求められています。おもちゃや遊びを通して子どもと関わる知恵や、親への支援などについて学びます。

- 現場で見える困った子の事例とその対応
- 子どもの良いところの保護者への伝え方
- 五感を刺激するおもちゃ・遊び
- 園内での連携・外部機関との連携



受講生の声

障がい理解だけでなく、保育現場での関わり方を知ることができました。

身近なものがおもちゃになり、発達を促す遊びとなりましたね。



発達が気になる子どもへの対応と発達を促す遊び



講座番号 583 7月29日(月) 10:00~16:00

太田篤志(アニメーション プレイジム 代表・姫路獨協大学医療保健学部 客員教授)
定員 70名 受講料 8,300円 東京会場/中野サンプラザ

参考書籍 書籍番号 E7 『手先が不器用な子どもの感覚と運動を育む遊びアイデア』 2,376円

自分のカラダと外界を感じ、自分のやりたいことを見つけ、自信をもって取り組んでいくためには、感じ-考え-実行していく感覚統合の力が大切です。感覚統合の問題で生じる苦手さを理解するとともに、感覚・カラダ・運動・動作を育む遊びについて体験を通して学びます。

- 遊び場面でみられる苦手さの理解
- カラダの土台をつくる遊び
- 感覚を堪能する遊び
- 器用さを育む遊び



受講生の声

発達が気になる子は、苦手なことが多いと捉えることができるとわかりました。

どのように子どもにアプローチすればよいのか、すぐに実践できることを学びました。

発達が気になる子どもの理解と支援の実際



講座番号 584 8月1日(木) 10:00~16:00 講座番号 585 8月8日(木) 10:00~16:00

*講座番号584と585は同じカリキュラム

竹谷志保子(うめだ・あけぼの学園/公認心理師・臨床発達心理士)
定員 各80名 受講料 各8,300円 東京会場/中野サンプラザ

テキスト 書籍番号 E6 『親から頼りにされる保育者の子育て支援』 2,160円

保育園・幼稚園の中で、発達障がいのある子・発達が気になる子を育てていくための手立てを、本人理解、ともだち関係づくり、環境づくりの視点から学びます。

- 一人ひとりの発達特性の理解
- 保育支援と発達支援のための基本的配慮
- クラス環境づくり
- ともだち関係・クラスを育てる



受講生の声

気になる子どもだけに目がいていたが、他の子どもも同じだということに気が付きました。

その子にとっての居場所づくりとともに、仲間づくり、クラスづくりについても考えていきたいと思いました。

発達が気になる子どもの理解と動きづくり



講座番号 586 8月2日(金) 10:00~16:00 講座番号 587 8月5日(月) 10:00~16:00

*講座番号586と587は同じカリキュラム

前田泰弘(長野県立大学教授/臨床発達心理士)
定員 各80名 受講料 各8,300円 東京会場/中野サンプラザ

テキスト 書籍番号 E6 『親から頼りにされる保育者の子育て支援』 2,160円

身体や感情の自己コントロールの不器用さを理解し、その保育的援助の方法を身体感覚の育成と動きづくりの視点から考えていきます。

- 子どもの発達とその評価の視点の理解
- いわゆる「気になる」行動の理解
- 自己コントロールの難しい子どもへの配慮
- 子どもの身体感覚を育てる保育



受講生の声

発達の理解から、配慮の方法まで具体例をあげた説明だったので、とてもわかりやすかったです。

身体を動かすこと、五感の大切さを知り、子どもたちの感覚を高めるための楽しい動きづくりを実践したいと思います。

